

～さわやかな

笑顔

みどり学年～

明石市立二見中学校

71回生

第2学年 学年通信

平成29(2017)年10月30日(月)

NO. 86

文化祭を終えて①

全校文化祭を終えて私は、“学年指揮”という大役をやらせてもらい、いつもの歌う立場ではわからない、緑学年の体育館中に響き渡る歌声を、あらためて聴くことができました。本当にきれかったです。そして、指揮をしていると、たくさんの笑顔を見ることができ、そして自分自身も、たくさんの笑顔のおかげで、緊張がほぐれて、笑顔で指揮をすることができました。少し失敗してしまうこともあったけど、その失敗を乗り越え成功に導けたのも、学年の先生方や伴奏者、そして学年のみんなのおかげだと思います。なので、私の今年の文化祭で学んだことは、たくさんの人たちのおかげで、よりよい文化祭をつくり上げることができ、その人たちに、たくさん感謝することが大事だと思いました。これからの学校行事や学年行事などでは、たくさんの人たちと協力し合って、一つ一つの行事を成功させていきたいです。これからも頑張ります。(5組 女子)



私たち3組は、1日目の学年文化祭で金賞をとることができました。最初の練習は、全然クラスでも、歌のまとまりがなくて、自分自身でも何をしたら良いかわからなかったけど、パートリーダーがしっかりと引っ張ってくれました。優しく、厳しく、アドバイスをしてくれて、自分たちでやる練習は、毎日成長しているなと感じました。3組でしか作れない「輝くために」ができたと思います。全校文化祭では、学年の時より人数が多くて、歌うのがとても緊張したけど、良い経験になりました。やっぱり、一番すごかったのは3年生です。自分たちと全然違って、びっくりしました。3年生の学年合唱は、全部ドイツ語で歌っていて、とてもすごかったです。1年生も声が大きくて、聴いていてとても心が温くなりました。この文化祭で、クラス、学年、自分自身が変わることができ、成長することができました。そして、… 3組、ほんまにありがとう。3組が金賞とれたのは、みんなが一生懸命取り組んで、とれたものやな!! 約半年間、これからもよろしくお願いします。(3組 女子)



文化祭を終えて思ったことは、歌えなかったこと、金賞をとれなかったことが、とても悔しいということです。その日のためにずっと練習したけど、当日の朝に熱を出して、意地でも行こうとして行ったけど、やっぱり無理でした。でも僕が帰るときに、先生からも友達からも、お前の分も声出して絶対金賞とって、また明日一緒に歌おうな!とか、お前がおらんかったらめっちゃ緊張する、とか言ってくれたので、とっても気が楽になり、とってもうれしかったです。2組の結果は銀賞でも、みんなが部活終わってから、「ごめん。一緒に歌いたかった」とか、たくさんのメッセージをもらいました。その時、銀賞はとても悔しかったけど、うれしい気持ちでいっぱいでした。僕は、みんなが僕の分まで、しゃかりきに取り組んでくれて幸せです。文化祭の時の2組のみんなの合唱を録画で聴いたとき、どこのクラスにも負けない、とてもきれいな合唱だと思いました。いろんな先生にいろんなアドバイスをもらって、時には怒られてやる気を無くしてしまう時もあったけど、本番で一番良い合唱ができたのは、それを乗り切ったからだと思います。自分の時間を削ってまで、良い合唱にしてくれようとした先生、一生懸命に歌ってくれたクラスのみんな。僕は友達と先生どちらにも恵まれました。(2組 男子)



今回の全校文化祭は、学年文化祭で銀賞だったので行けなかったけど、聴いているとすごいと思う歌ばかりでした(特に3年生)。やっぱり、全校文化祭にでるクラスは、少し違うんだなと思いました。3年生は、さすが最高学年というだけあって、歌っているだけなのに、こっちに伝



わってくるし、拍手も忘れそうになるぐらい、心をもっていかれそうでした。聴いていて、来年あんなことができるのかと心配になります。体育大会のマスゲームでも、あんなに息が合っていて、文化祭でも心をつにして歌って、聴いている人に歌詞の意味を伝えるように歌う、それを3年生が普通な感じでやっていてすごいと思いました。3年生と、自分達2年生は、心の底から何か違うんだと今日の文化祭では思い知らされました。と思うと、3年生の学年文化祭のレベルは、すごく高かったんだろうなと思いました。おそらく、どのクラスも接戦で、先生たちも、どのクラスを全校文化祭に持っていくかとても悩んだと思います。3年生の銀賞は、自分たちの持っている銀賞とはレベルが違うんだろうと思います。今からでも頑張って、来年、今の3年生みたいに気持ちを伝えられるぐらいの歌を歌えるように頑張りたいです。(7組 男子)